

***** The Future We Want

Name: 山内 侑南 Age: 11才 Date: 5月9日

私が望む未来は、自然と親しむことができる
平和な世界です。

私は、今の世界には「愛」が足りないと思います。「愛」と
は、いろいろなものとの関わりを大切にすることです。自分の
身近なことでは、人との関わりや、仲間を大切にす
ることです。でも私はそれが不足していると思った経験が
あります。それは、私がある人に私の考えを話していたと
きでした。すると、その人は私の考えを真向から否定した
のです。そのときその人の態度に「愛」がないと感じました。でも、
そのような思いやりのない人を作り出したのは一体誰では
うか。そんな思いやりのない人は、きっと自分のための世界を
作ろうとします。木が邪魔だから切り落とす、虫が嫌いだ
から殺すというような行重をとるでしょう。それがエスカレー
トすると、自然でもこわしていいという考えが生まれます。た
えば、人間が住む場所をつくるために、森林をこわ
したり、お金をかせぐためだけに、工場をつくります。このよ
うな行重は心のないロボットと同じです。自分
月勝手です。そのような心のないロボットは、自然を破

***** The Future We Want

壤を進めます。もし、自然が石皮土壌されたら、二酸化炭素を吸い、酸素を作り出す植物がいなくなります。そうすると、酸素がなくなり人間が生きていられない環境になってしまうかもしれません。また、環境が壊れていくと、心がすさんで、又との関わりが雑になり、仲間やみんなのことを大切にしなくなります。これはまさに、愛がないということになります。「愛」がなくなれば、戦争も今以上にあちこちで起こるようになるかもしれません。「愛」を見失わないためには、「身近にある命」の大切さを学ぶ必要があると思います。そのために自然界の食物連鎖を見たり、植物の成長、動物の成長を見て、自然に関心のない人にも、自然の大切さを教えることが必要だと思っています。そして、私たちが「できること」は、木の枝を折らない、田にいたる虫をできるだけ殺さない、植物の上を無造作に歩かないということです。これは小さなことでは、ありますが、それを続けていくことで、「命」の大切さを知り、いろいろなものとの関わりも大切に考えられるようになると思います。その結果として、「愛」にあふれていくのではないのでしょうか。「愛」があふれば、戦争も減り、平和な世界に近づいていくのではないかと思います。

***** The Future We Want

自然と親しむことで、心が落ち着き、気分がよくなって、人にも優しくなれるかもしれません。私たちの国が自然を大切にすることを始めれば、他の国も影響され、自然が壊れる世界を取り戻せるかもしれません。でも、このようなことは実際にやってみないとわかりません。だから、理想を口にするだけでなく、小さなことでも試して続けてみるのです。そして、自分たちが行動を起こす前に、私たちは本当に自然を大切にしているだろうか、この行動が自然にとってどのような影響を及ぼすのか、ということをしっかり考えるべきです。これは最も大切なことだと思います。

私は信じています。自然と親しめば、命の大切さを知り、愛にあふれることを。そして、人々の心が優しさで満ちて、自分勝手ではなくなることを。

私が望む自然と親しめる平和な世界になることを。